

# VMware SD-WAN: Deploy and Manage (VMware SD-WAN: 導入と管理)

## コースについて

この2日間の実習トレーニング コースでは、VMware SD-WAN by VeloCloud® 環境の導入と管理に必要な知識、スキル、ツールを学習します。SD-WAN を構成するさまざまな要素のワークフローと、VMware SD-WAN by VeloCloud の導入や管理を支援する運用ツールについて紹介します。

## コースの目標

このコースを修了すると、次のことができるようになります。

- SD-WAN のアーキテクチャ、およびプラットフォーム導入モデルの選択肢について理解する
- SD-WAN ソリューションのコンポーネントについて理解する
- 各コンポーネント(SD-WAN Edge、Orchestrator、Gateway)間の相互作用について理解する
- SD-WAN の Software-Defined Networking(SDN)アプローチ、トラフィック、ネットワーク フローについて理解する
- SD-WAN の主要機能を確認し、これらの機能によって運用の自動化が大幅に促進される仕組みについて理解する
- SD-WAN の機能を使用し、シンプルかつ俊敏でセキュアな SD-WAN 運用を実現する
- 拠点のエッジ、クラウド、地域およびエンタープライズのデータセンターにネットワーク サービスを追加して、拠点のインフラストラクチャを簡素化する

## 対象者

- ネットワークソリューションの設計と実装を担当している上級システム管理者、ネットワーク管理者、システム インテグレーター
- エンタープライズおよびデータセンター ネットワークでの実務経験のあるネットワークおよびセキュリティ プロフェッショナル

## 前提条件

- ルーティングとスイッチに関する広範な知識が必要です。

以下について理解している、または以下の知識を有している必要があります。

- TCP/IP サービスとプロトコルについて詳細に理解していること
- 以下を含むコンピューター ネットワークに関する知識と実務経験:
  - スイッチとルーティングの技術(L2 ~ L3)
  - ネットワークおよびアプリケーション提供サービス(L4 ~ L7)
- IaaS、SaaS、パブリッククラウドおよびプライベートクラウドに関する基本的な知識

「[VMware Certified Professional – Network Virtualization\(2022\)](#)」認定資格を取得していることが推奨されます。

## 受講方法

- 教室開催
- ライブ オンライン
- [一社様向けオンサイトトレーニング](#)

## 使用製品

- VMware SD-WAN™ 4.4

## コースのモジュール

### 1 コースについて

- 概要およびコースの流れ
- コースの目標

### 2 VMware SD-WAN ソリューションの概要

- 従来の WAN テクノロジー、WAN トポロジー、およびその問題点について再考する
- Secure Access Service Edge(SASE)が解決する課題、およびユースケースについて理解する
- VMware SASE™ ソリューションのコンポーネントを把握する
- VMware SD-WAN ソリューションを理解し、その機能を把握する

### 3 VMware SD-WAN のコンポーネントとアーキテクチャ

- VMware SD-WAN ソリューションのアーキテクチャを理解し、そこに含まれるすべてのコンポーネントを把握する
- VMware SD-WAN Edge、VMware SD-WAN Hub、VMware SD-WAN Gateway、VMware SD-WAN コントローラ、VMware SD-WAN Orchestrator を理解する
- VMware SD-WAN ソリューションのコンポーネントの相互連携の仕組みを理解する

### 4 VMware SD-WAN Orchestrator の使用

- VMware SD-WAN Orchestrator の主な特性を理解する
- VMware SD-WAN Orchestrator の主な機能を理解する
- VMware SD-WAN Orchestrator ポータルのメインメニューを操作する

### 5 VMware SD-WAN の導入および構成

- VMware SD-WAN Edge、VMware SD-WAN Hub、VMware SD-WAN Gateway などの VMware SD-WAN のコンポーネントの導入プロセスを理解する
- VMware SD-WAN の構成のワークフローを理解する
- VMware がサポートするオプションのネットワークサービスと、その構成手順を把握する
- VMware SD-WAN のインフラストラクチャ内のプロファイルと、そのアプリケーションについて理解する
- VMware SD-WAN Edge のアクティベーション プロセスを理解する

### 6 パスとトラフィックの管理

- VMware SD-WAN がサポートするルーティング オプション(スタティック、BGP、OSPF)を列挙する
- Dynamic Multipath Optimization(DMPO)機能とその利点について理解する
- トラフィック管理のためのサービス品質(QoS)およびその構成について理解する

### 7 VMware SD-WAN 環境の保護

- VMware SD-WAN 環境を保護するためのさまざまなオプションを理解する
- ファイアウォールの機能と構成を理解する

### 8 監視、保守、トラブルシューティング

- VMware SD-WAN のインフラストラクチャの監視に利用できるさまざまな機能を把握し理解する
- VMware SD-WAN 内の問題のトラブルシューティングと調査に利用できるさまざまなオプションを把握し理解する

## お問い合わせ

このコースに関するご質問や登録方法については、[japan-education@vmware.com](mailto:japan-education@vmware.com) までお問い合わせください。



ヴァイムウェア株式会社 〒108-0023 東京都港区芝浦 3-1-1 田町ステーションタワー N 18 階 [www.vmware.com/jp](http://www.vmware.com/jp)

© 2022 VMware, Inc. All rights reserved. 本製品またはワークショップ資料は、米国および国際的著作権法および知的財産法によって保護されています。VMware 製品は、<https://www.vmware.com/download/patents.html> のリストに表示されている 1 件または複数の特許対象です。VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。他のすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

VMware は、一般的に認められている業界基準と慣例を使用して妥当な方法で、ここで記載されているワークショップ サービスを提供することを保証します。上記明示保証は、VMware が提供するサービスおよび成果物、ならびにそれらのサービスおよび成果物から得られる結果に関する、明示、黙示、法定、その他のあらゆる保証(商品性に対する黙示保証および特定目的に対する適合性の黙示保証を含みます)に代わるものです。VMware は、お客様に対して特定または参照した、いかなる第三者のサービスまたは製品に対しても責任を負いません。本ワークショップにおいて提供される資料(以下「ワークショップ資料」といいます)の著作権は VMware に帰属します。VMware は、お客様が許諾を受けた VMware 製品についての社内での理解、利用、運用を促進する目的に限り、本ワークショップのお客様にワークショップ資料の使用および合理的な範囲でコピーを作成することを許諾します。前述の明示された場合を除き、本ワークショップの条件の下で許諾された知的財産権およびそのほかのいかなる許諾された権利も他者に譲渡することを禁止します。米国内のお客様の場合、サービスに関する VMware の契約当事者は、VMware, Inc. になります。米国外のお客様の場合、サービスに関する VMware の契約当事者は、VMware International Limited になります。